

この度はパワーウィンドウ・オート制御装置をご購入いただき誠にありがとうございます。

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。車種毎の配線図を車を購入されたディーラーから入手されると、当方から具体的な結線先のサポートが可能となります。（必要な部分は、各ドアのパワーウィンドウスイッチ周りの配線図です）

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

- ◎パワーウィンドウスイッチを 短く2度押し することで、パワーウィンドウを オート動作 にします。
- ◎下降側、上昇側どちらでも有効です。 オート動作中にスイッチを操作すると直ちにマニュアル操作に切り替わります。
- ◎運転席ドア、各ドアのどちらのウィンドウスイッチでも操作可能です。
- ◎通常のマニュアル操作も従来とおり可能です。
- ◎短い間隔で2回ドアロックを行うと全閉(RollUp)し、アンロックを行うと全開(RollDown)となります。

注意事項

- ※本装置は12V車専用です。 12V車両以外には取付けできません。
- ※装置は運転席ドア内部ではなく、オート化させたいドア内部に設置してください。 装置一台で1ドア対応となります。
- ※オート動作は約5秒間のタイマー動作となります。 挟み込み検出はできませんのでご注意ください。
- ※ドア内部は雨水、洗車水が浸入し易いので、装置本体をビニール袋などで包み、防水処理をお願いします。

取り付け手順

免責事項

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。

- ※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。
- ※作業開始前に下記 配線図 を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解をお願いします。

1. 取付けるドアのドアトリムを外し、パワーウィンドウモータの駆動配線にアクセスできるようにします。
2. パワーウィンドウスイッチを操作しながら、モータの上昇時12V、下降時12V配線を確認します。
3. 上昇時12V配線を適当な場所で切断し、装置の UMT配線 を結線します。
4. 上昇時12V配線切断後のもう一方に、装置の USW配線 を結線します。
5. 下降時12V配線を適当な場所で切断し、装置の DMT配線 を結線します。
6. 下降時12V配線切断後のもう一方に、装置の DSW配線 を結線します。
7. 装置のボディーアース配線を、バッテリーマイナス配線に接続します。
 ※ドア金属部は電氣的にアースされていませんので、ドア内部の適切なバッテリーマイナス配線に接続してください。
8. 装置の常時12V配線を、ドア内部の常時12V線に接続します。
 通常は、パワーウィンドウスイッチコネクタにあります。 常時12V線が無い場合はIGN電源でも機能的には大丈夫です。
9. ドアロックアクチュエータの駆動配線をテスターにて確認します。
 10. ロック時に短時間12Vとなる配線にLOCK配線を、アンロック時12Vとなる配線にUNLOCK配線を接続します。
 ※RollUp/Down機能が必要ない場合は、上記の 9、10、 は必要ありません。

以上で終了です。 お疲れ様でした。

配線図

